

学校教育目標		高い志をもち 夢の実現に向けて 自分らしく 他者とともに生きる児童の育成	
経営理念	使命・存在意義	学校に関わる人が幸せになるための仕組みになる。人が輝き、心が動く学校を創る。大切な人に誇れる学校であり続ける。	
	中心価値・行動規範	Act Boldly ■大胆に行動する Build Equal Trust ■信頼し、信頼される Create the First ■はじめてをつくる Do a Professional Work ■プロフェッショナルであれ Express as a Team ■チームとして取り組む	
現状と今年度の重点		本校は、「広島県小学校教科担任制推進事業」「広島県小・中・義務教育学校生徒指導サポート実践校事業」の指定を受け、実践的な研究を進めてきた。学習指導は、児童の思考力・表現力は高まり、話す・書く活動は教科等に好影響を与えている。また、生徒指導は、中間的集団を承認する活動や、特別活動等でエージェンシーを育てる取組により、主体性や協働性が育ってきている。さらに、サポートルームを開設し、児童個々の状況に応じた取組を進めている。しかし、学習指導では、知識・技能の定着に課題があり、生徒指導では、不登校児童が増加傾向であり学校で生活しづらい児童への相談支援体制が必要である。教職員においては、児童と教職員の共同エージェンシーを高めることが重要である。また、働き方では、学校経営に参画し文化と仕組みを創るために本音で共創し、自他が変革する組織開発を進めることが必要である。なお、本年度から、コミュニティ・スクールによる、地域とともにある学校づくりを進めていく。 令和5年度の成果と課題を踏まえ、本年度は7つの事業を学校評価の対象として学校経営を進める。 (1)授業の基本の「基」充実事業 ファシリテーションとモニタリングによる授業改善の更新と基礎学力の定着 (2)授業研究充実事業 教科・単元の特性と児童の論理を生かした授業構想と実践の内省による、学びの深化 (3)生徒指導充実事業 他者との繋がりへのデザインによる、個人と集団のウェルビーイングを高める環境づくり (4)エージェンシー育成モデル事業 意思決定と協働による異年齢交流や学級行事等を通したエージェンシーの育成 (5)体力づくり充実事業 運動量の確保と生活習慣の確立による、課題を達成する自律性や楽しさを実感する活動 (6)チームワーキング推進事業 チームの協働的な業務の遂行と、深堀と探索による個の職能成長と組織の成熟 (7)コミュニティ・スクールモデル事業 地域の人・もの・ことなどを活用した体験的な活動による、深い学びの実現	

	中期経営目標	短期経営目標	担当	達成目標	成果指標（効果を見取る目安）	自己評価						取組の達成状況および成果と課題（○）	来年に向けて（◆）	評価 適正○ 不適正×	ご意見
						9月			1月						
						達成値	達成度	評価	達成値	達成度	評価				
確かな学力	指導の個別化と重層化により、児童に生きて働く知識・技能を習得を図るとともに、「書くこと」を重視し思考力・判断力・表現力を育成する。	変革型・グラフィックファシリテーションによる授業改善と、児童がインテイクしたことをアウトプットする学習過程のモニタリングを通して、基礎学力の定着と活用する力の向上を図る。	授業の充実事業「基」	・話し合いのコツを使いながら、主体的に対話的な授業をデザインしていく。 ・特別支援教育の視点を取り入れた授業を行い、児童の思考の流れを繋ぐ。	・児童アンケート「授業をすることで、1人では気付けなかったことに着目することができた。」について、肯定的回答の割合を前期後期に検証する。 ・教員アンケート「基本の「基」に基づいて、授業改善ができた。」について、肯定的回答の割合を前期後期に検証する。 ・特別支援に係るアンケート結果から数値が良くなかった項目について、肯定的評価の伸び率を前期後期に検証する。	80.0 80.0 3.4	86.6 96.3 3.4	108 120 100		85 100 3.6	106 125 105.9	A	○ ○ ○	・自己評価で3つとも達成され有意義でした。個人→グループ→個人への関わりの大切さを引き続きお願いします。 ・成果指標をかえるのか目標値を上げるかしていきたい。目標、運営が分かりやすい。小学校で一番大事な基礎学力をつけているのが良い。 ・個々に違う児童の特性を見極めて対応することは大変なことだと思いますが、基本の「基」を充実することは、全体の底上げにとっても重要だと思います。 ・話し合いのコツで対人交流の生長を期待します。	
		教科や単元の特性と、児童の論理と思考を生かした授業構想により、学びを広げ深める対話活動と学びを活用する「めあて」と「振り返り」を創り、授業研究会での内省により自分とチームの成長を加速させる。	授業研究	・TKFモデルを取り入れた単元・授業展開を行い、思考力・判断力・表現力の育成を図る。 ・単元終わりに、児童が学習を振り返り、学習の内容を自覚化させる。	・単元末テスト「思考力・判断力・表現力」の達成値達成率80%以上の児童85%以上にする。 ・単元の振り返り（ノート）のB基準達成児童の割合をB基準達成児童80%以上にする。	国85.0 国算85.0 国算62.8 国算85.0 国算85.0 国算85.0	国75.0 国算62.8 国算81.0 国算76.6	国88.2 国算73.8 国算95.2 国算90.1	国B 国算 国算 国算 国算 国算	国76.6 国算63.6 国算66.1 国算83.9	国90.1 国算74.8 国算77.7 国算98.7	国B 国算 国算 国算	○ ○ ○ ○	・学力の数値は学力度調査の点数に直結します。着実に伸びているので安心しています。個々に差があるのは仕方ないので、意欲的に取り組むこと、分かることの楽しさを伝えてもらいたい。 ・自ら考え判断し、表現できる育成の取組が大変良いと思います。 ・成果指標を1月時点で評価できるものをお願いします。授業研究を繰り返され充実した授業作りに感心します。 ・算数科の点数が伸びた取り組みもすごい。 ・AI活用についてAIとの付き合い方を示していただきたい。	
		社会生活に繋がる自律に向けて、児童の抱える多様で複雑な状況に応じて、自分らしく、他者や社会との繋がりをデザインし、個人と集団のウェルビーイングを高める。	生徒指導	・児童の他者受容感・自己有用感を高め、楽しく学校生活をおくることができるようになる。 ・児童アンケート「学校が楽しい」の項目の割合を90%以上にする。	・令和6年度学習意識等調査の結果を基に、「自分のよさは、まわりの人から認められている。」の項目の肯定的回答が、全校で広島県平均+5ポイントとなるようにする。 ・児童アンケート「学校が楽しい」の項目の割合を90%以上にする。	78.8 90.0	75.9 89.8	96.3 99.7	B B	74.3 93.4	94.2 103.7	B A	○ ○	・自分を出し、他者の意見も受け止める。ともに楽しく遊ぶ。縦、横のつながりを交流を通して学ばれている。 ・自己有用感や他者受容感をもつことは、大人にとっても難しいことです。素直に受け止めることのできるこの時期にしっかり指導をしてもらいたい。 ・不登校の家庭にはプログラム支援を、すべての家庭に一層の子どもの啓発をお願いします。 ・いい所見つけの活動、とても有意義です。更に広げる取り組みに期待しています。学習プログラムの活動の位置づけ、実施時期も決められるとよいのでは。	
豊かな心	社会規範を尊重し、居場所づくり・絆づくりの取組により、児童の自己効力感を高め、自分らしく在り、自他を大切に人間関係を育成する。	児童が責任をもって、教職員とともに意思決定し、自主性・協働性を発揮する異年齢交流や全校的な活動、学年活動や学級活動等を通して、エージェンシーを育てる。	エージェンシー育成	・児童がそれぞれの学年に応じた特別活動や児童会活動に意欲的に取り組むことで、一人ひとりのエージェンシーを育てる。	・児童アンケート「誰かのためにがんばってよかったな、と思うことがある。」について、肯定的回答の評定値を学期毎に検証 ・児童アンケート「委員会活動はやりがいがある(高学年)」について、肯定的回答の評定値を学期毎に検証	80.0 80.0	87.8 96.4	109.8 120.5	A A	89.7 96.9	112.1 121.1	A A	○ ○	・「エージェンシー」という用語の定着とどのような活動をどこがするのかをお示ください。 ・自己評価で2つとも達成され有意義でした。自分のことばかりの評価ではなく、誰かのためにという評価はこの時期大切なことと思う。更に異学年・地域との交流を深めてほしい。 ・児童一人一人の役割を尊重し、自主性を育てる取り組みは大変重要です。自分たちのことは自分たちで決めることを意識して新しい発想を期待します。 ・自主性、協働性を学年に応じて取り組んで学び方が大変良いと思います。	
		継続的で再現性・模倣性の高い体力づくりの推進と生活習慣の確立により、児童が健康・安全で活力のある生活を送る力を高める。	体力充実事業	・児童が自ら課題をもち、体力づくりへの楽しさをやり取り組んだことによる達成感を実感させる。	・児童アンケート「(授業や休憩時間、お家で)進んで体力づくりに取り組んでいる」と肯定的に答える児童の割合を85.0%以上にする。	85.0	77.0	90.6	B	78.4	92.2	B	○	・体が最も成長する小学校6年間に基礎体力をつける習慣をもつことはとても重要です。家庭での習慣も大切なのでPTAを巻き込んだ仕掛けを望みます。 ・成果指標が一つなのが気になります。知・徳・体の項目としていくと、様々な運動能力の伸びを期待したい。引き続き楽しく体を動かす取り組みを続けてほしい。(外遊び アスレチックの建設) ・一人遊びがますます盛んになっていますので学校での運動は頼りにしています。 ・よく遊び、よく学ぶ、体力をつけること、大人数の児童でできる遊びがされている。	
信頼される学校	学校内や家庭・地域との連携を深め、児童と教職員が、自分自身や、自分と他者・社会との関係を見つめ直し、自分らしさや十日市らしさを見出し、自他や社会を変えていく学校づくりを進める。	本音で共創するチームワーキングにより、中期的な視点で協働的・創発的に業務を進め、常に深掘と探索の視点を見つけ、実現可能な形に変えて行動化し、個々の職能成長と組織の成熟を図る。	チーム推進事業	協働的に業務を進め、自らの職能成長を図るとともに、組織の生産性を高め、教職員が主体的に考え、交感しながら行動できる教職員を育成する。	・教職員アンケートの肯定的回答率が85.0%以上にする。 ①エンゲージメントに係る9項目 ②「自分はチームワーキングに計画的に取り組む、本音で共創し学校経営に参画しようとしている」 ③「自分は、働き方の課題を見直し、自らの働き方を変えようとしている」③の	85.0 85.0 85.0	85.2 89.7 84.8	100.2 105.5 99.7	B	86.6 92.0 88.9	101.8 108.2 103.5	A	○ ○ ○	・地域も親も先生も元気で児童も元気になる。 ・残業が少なく創造的な職場をつくってください。 ・教職員の方々が意欲と向上心をもって業務されていることはとても素晴らしい。今後は、地域と共想でよりよい環境を創っていきましょう。 ・チームワーキングを取り入れ、チーム十日市小としての力を引き続き高めていって下さい。 ・先生方のやる気が児童に伝わります。信頼される学校としての成果指標として何がよいか考えたい。	
		地域住民や生産者等、児童の関心深い人物や、自然環境、公共施設、伝統行事等と関わり、学校内外での体験と新しい挑戦や発見の機会、将来の夢の実現に向けた取組により、深い学びを実現する。	コミュニティ・事業	知識と経験を関連付けける学習を通して、児童が新しい挑戦の機会を得たり、新しい発見によって将来の夢を具体化できるきっかけとなるような深い学びの体験を保障する。	・前後期に各1回以上、社会に開かれた教育課程をもとに、地域・保護者との連携を図り学習を行った学年の割合を80%以上にする。	80.0	50.0	63.0	C	83.3	96.0	B	○	・重要なのは互いを信頼し常に新しい情報を共有することだと思います。方向性を見失わないように、子供たちの未来のために取り組みましょう。 ・1年生から6年生まで地域の方との連携を図り学習できてよかった。地域から学ぶ、様々な人から学ぶ、その機会を広げていってほしい。連携シートの充実、お手紙を含め継続的なつながりを求めたい。 ・琴の拡充、興味をもちました。 ・地域、企業等、広く働く人々の話を聞くチャンスもち、知識を広げてほしい。	

達成度＝達成値÷目標値×100

【評価】 A(目標達成):達成度≧100 B(ほぼ達成):80≦達成度<100 C(もう少し):60≦達成度<80 D(できていない):達成度<60